

科目名 Course Name	保育実習 I Childcare Practice I				ナンバリング No.	K1－015	
年次	1・2 年	期別	通年	単位数	4	授業形態	実験実習
担当者氏名	栗原 多恵						
連絡方法	講義棟 3 階研究室か、メール、C-Learning で対応する						
必修／選択	選択(保育士養成課程必修)						
関連 DP	DP3, DP4, DP5						
授業の概要と 到達目標	保育所と児童福祉施設等における実習に臨み、それぞれの施設の機能と役割を理解するとともに、子どもたちの理解を深める。また、子どもたちや職員との交流を通して、保育士の職務内容、職業倫理、子どもの最善の利益の具体化について学ぶ						
授業の方法	実習						
学習成果	L01	保育士としてのコミュニケーション能力などを身に付けられる。					
	L02	子どもや保護者の願いを理解した支援を実践できる。					
	L03	支援を要する子どもたちの気持ちを理解した支援ができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	実習巡回時に実習担当教員より指導。						
教科書／ 参考図書	保育実習の手引き(佐野日本大学短期大学)						
履修上の留意点 やルール等	保育実習指導Ⅰの授業を必ず履修し、単位取得の成績を得ていること。保育士必修科目の必要単位が取得されていること(不可や欠時不認定の科目が多い場合は、面談の上実習延期や辞退を判断する)。実習に臨む態度や意欲を明確に示し、実習施設に対して適切に行動できること(状況によっては実習延期や辞退も検討する)。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				L01	L02
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	実習施設における評価基準により評価されたに5段階評価に基づく。(5:優れている、4:やや優れている、3:普通、2:やや努力を要する、1:努力を要する)			70			
レポート／作品							
発表							
小テスト							
試験							
その他	実習日誌の内容確認(空欄の有無、訂正・修正箇所の対応など)。学内における提出日を設け、提出期限を厳守していること。		30				
合 計			30	70			

回数	授業計画
1	【保育所における実習】90 時間:2 単位
2	保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と職務について学ぶ。 (1) 保育所について理解する。
3	(2) 保育所の一日の流れを理解し、参加する。 (3) 児童の観察やかかわりを通して、乳幼児の発達を理解する。
4	(4) 保育計画・指導計画を理解する。 (5) 生活や遊びの一部分を担当し、乳幼児の発達を理解する。
5	(6) 職員間の役割分担とチームワークについて理解する。 (7) 記録や保護者とのコミュニケーションを通して、家庭・地域社会を理解する。
6	(8) 児童の最善の利益を具体化する努力について学ぶ。 (9) 保育士としての職業倫理を学ぶ。
7	(10) 安全及び疾病予防への配慮について理解する。
8	【児童福祉施設等における実習】90 時間:2 単位
9	児童福祉施設等の生活に参加し児童等への理解を深めるとともに、施設の機能と職員の職務を学ぶ。 (1) 実習施設について学ぶ。
10	(2) 養護の一日の流れを理解し参加する。 (3) 児童等の観察やかかわりを通して、願いや心情を理解する。
11	(4) 援助・支援計画を理解する。 (5) 生活や援助などの一部を担当し、養護技術の習得を目指す。
12	(6) 職員間の役割分担とチームワークについて理解する。 (7) 記録や保護者とのコミュニケーションを通して、家庭・地域社会を理解する。
13	(8) 児童の最善の利益のための配慮を学ぶ。 (9) 施設職員の職業倫理について学ぶ。
14	(10) 安全及び疾病予防への配慮について理解する。
15	学生自身が実習に向けての課題を持ち、各項目の内容を取り組み、内容に応じた実践を行う。 実習園の概要や特徴を資料等で確認する。実習オリエンテーションなどは、実習園と適切に連絡を取り合う。実習後の書類管理・その他は守秘義務を負うことを理解する。